

ゴールデンターキンの子赤ちゃん

愛称が「ミカゲ」に決定しました



▲ 一般公開初日の様子(令和2年1月25日撮影)

令和元年12月21日(土)によこはま動物園ズーラシアで誕生したゴールデンターキンの赤ちゃん(オス)の愛称が「ミカゲ」に決定しました。1月25日(土)~2月2日(日)に実施した来園者の愛称投票で、総数711票のうち、「ミカゲ」は最多の286票を獲得しました。

元気いっぱい活発な「ミカゲ」にぜひ会いに来てください。今後の展示予定についてはホームページでお知らせします。

※天候や動物の健康管理等の理由により、展示時間の変更や中止の場合があります。

順位	愛称候補	由来	票数
1	ミカゲ (御影)	母「ヒナタ(太陽)」から「影」を連想し、御影石のように頑強なオスになってほしいという願いを込めて	286
2	カイセイ (海青)	兄「ファルコ」(ハヤブサ属の学名 <i>Falco</i> から連想し、中国でシロハヤブサを表す[海東青鶻(かいとうせいこつ)]の略	262
3	ヨンファ (勇花)	2019年に大活躍したラグビー日本代表チームの愛称『プレイヴ・プロッサムズ』を直訳し中国語読み	147
		無効票	16
		合計	711



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先			
よこはま動物園	副園長	渡辺 武志	Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ゴールデンターキンについて

和名	ゴールデンターキン
英名	Golden Takin
学名	<i>Budorcas taxicolor bedfordi</i>
分類	鯨偶蹄目 ウシ科
分布	中華人民共和国陝西省・甘粛省の一部（秦嶺山脈）
生態	標高 2,000mから 3,000m程度の急峻な山地帯に棲み、季節により標高を変え移動している。森林の中で木の葉やタケノコ、草本などを含む 160 種以上の植物を採食する。群れは平均 10 頭程度の家族単位で、1 頭の成獣オスが複数のメスや子を率い、外敵等から群れを守る。体には特定の分泌線はないが、臭いの強い油状の物質を分泌してにおい付けをする。またこの分泌物は体が雨や霧で濡れるのを防ぐ役割も持つとされる。野生での性成熟は、普通メスで 4 歳程度、オスで 5 歳程度。 成獣オスは金白色の体毛になるのが和名の由来。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 絶滅の危険が増大している種
当園飼育頭数	6 頭 (オス 4 頭、メス 2 頭) ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	3 園館 23 頭 (オス 12 頭、メス 11 頭) ※令和元年 12 月 31 日 現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
※毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート（18 歳以上）2,000 円
 - ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
 - ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）※3/25～5/11 までは無休
 - ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅西口から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
 - ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
 - ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
 - ◆問合せ先：045-959-1000
- ※よこはま動物園ズーラシアは、2019 年 4 月 24 日に開園 20 周年を迎えました。